

(令和6年11月5日決定)

令和7年度 守谷市重点政策

守 谷 市 長

全庁重点政策と政策推進に直結する施策・取組

本市の行政経営に関して、令和7年度は次の5本を全庁重点政策とする。

また、それぞれの重点政策の推進に直結する施策・取組を選定し、優先的に取り組むこととする。

【全庁重点政策】

- | | |
|--------------|--|
| 重点政策1 | 『わくわく子育て王国もりや（未来へつなぐ教育・子育て）』の実現に向けたまちづくり |
| 重点政策2 | 『いきいきシニア王国もりや（未来へつなぐ健幸）』の実現に向けたまちづくり |
| 重点政策3 | 『地域主導・住民主導による市民王国もりや（未来へつなぐ地域・ひと）』の実現に向けたまちづくり |
| 重点政策4 | 『スマートデジタル王国もりや（未来へつなぐDX）』の実現に向けたまちづくり |
| 重点政策5 | 『王国もりや』の未来づくり |

重点政策1 『わくわく 子育て王国もりや（未来へつなぐ 教育・子育て）』の実現に向けたまちづくり

働き続けながら安心して子どもを産み、楽しく子育てができる環境を整え、子どもたちが笑顔で健やかにたくましく育つまちづくりを進める。

【政策推進に直結する施策・取組】

施策1：子育て支援の充実

▽多様な保育サービスの提供

- ・ 多様な保育ニーズに対応した保育サービス（延長保育、一時預かり、病児・病後児保育、障がい児保育など）の充実を図り、就労と子育ての両立を支援する。
- ・ 全国的に保育士不足が深刻化する中、保育所が定員まで児童の受入ができるよう、民間保育所の保育従事者の確保を支援（合同就職説明会の開催、働きやすい職場づくりへの啓発研修、新規就労助成金の給付など）する。
- ・ 児童クラブのニーズに応じた受け入れができるよう、特定地域選択制度や学校の適正配置計画に対応した公設児童クラブ及び民設民営児童クラブの支援（部屋）数確保に努め、安定した運営の継続により待機児童ゼロに努める。

▽母子保健の充実

- ・ 妊娠期から子育て期において切れ目のない包括的支援を行うとともに、出産退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポートを行い、安心して子育てができるよう産後ケアの充実を図る。
- ・ 電子母子手帳を導入し、妊娠届、交付金の申請、アンケートや各種予約を電子化することで、妊娠期から子育て期における手続きの利便性向上を図る。

▽安心して遊べる場の提供

- ・ 放課後子ども教室を充実させ、習い事に相当する継続的な学びの機会の提供や朝の校庭・体育館開放など、市民ニーズに応じた新たな取組が進められるよう、学校・家庭・地域の連携による支援体制の確立を目指す。

▽子育て不安の解消と交流の場の提供

- ・ こども家庭センターの専門的な相談支援体制をもって、児童福祉と母子保健の観点から、こどもとその家庭へのサポートの充実を図る。
- ・ 子育て支援施設においてウォッチ・ミー・プレイの手法を導入し、適切な愛着形成について啓発を行い、親子の信頼関係構築を支援する。

施策2：教育改革の推進

▽確かな学力の育成

- ・ 児童生徒の生きる資質・能力の育成に向けて、ICT(情報通信技術)を効果的に活用し、個別最適な学びや協働的な学びを一体的に進めるための学習支援アプリや児童生徒の学びを深めるための生成AIの活用を図るとともに、先生が一人ひとりの子どもたちの個性に合わせて、寄り添い支援することを組み合わせることで、より効果的な学習を目指す。
- ・ 市の情報教育活用能力育成計画に基づいたデジタルシティズンシップ教育を全小中学校で推進していくために、引き続き児童生徒の発達段階に応じた動画教材や資料、eラーニング教材を活用し、授業や自主学習における情報モラル・情報リテラシー教育の充実を図る。
- ・ 生成AIを活用した小学校向け英語パフォーマンステストと中学校向け英語スピーキングテスト導入により、児童生徒の英語の発信力を客観的に評価でき、フィードバックを得ることで更なる英語力の向上を図る。

▽豊かな心を育む教育の推進

- ・ いじめや不登校への対策として、校内フリースペース支援員を増員し、全ての小中学校に児童生徒の居場所を確保する。また、いじめ防止のための授業プログラム等について、外部専門家の協力を得ていじめ対策の推進を図るとともに、保護者向けの啓発や教職員に対する研修等に努める。
- ・ 小学校に加え、中学校でも読み書き障がいの可能性を把握する検査を行い、効果的な指導・支援につなげ、困難さの度合いにより合理的配慮を提供する。

▽地域とともにある学校づくり

- ・ 地域住民と保護者等が学校運営に参画するコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)と地域学校協働活動を一体的に推進するため、学校・家庭・地域の合同研修会等を通して共通認識を深め、地域全体で子どもたちの教育環境の充実に資するとともに、各中学校区におけるコーディネーター候補を発掘・育成し、地域の教育力を生かした学校支援を継続する。

▽学びを支える環境づくり

- ・ 学校施設の長寿命化計画に基づき、けやき台中学校校舎大規模改修工事のほか、大井沢小学校及び松ヶ丘小学校屋内運動場の大規模改修工事を完了させるとともに、松前台小学校校舎大規模改修工事の実施設計を進め、安全・安心で快適な教育環境の維持に努める。また、学校施設が地域住民等の様々な活動の場として活用できるよう、より施設を利用しやすい環境づくりを行う。
- ・ 市内小中学校の適正配置基本方針に基づき、通学区域審議会を継続開催し、子どもたちにとって望ましい教育環境の維持に努める。黒内小学校の適正規模化策としては、

特定地域選択制度の利用促進を図るとともに、通学区域の変更等の対策検討を進めていく。

- ・ 子どもたちの泳力確保及び教職員の負担軽減のため、水泳授業の民間委託を小学校低学年から中学年までに拡大する。
- ・ 休日の公立中学校の部活動の管理運営を市スポーツ協会に委ね、引き続き専門指導員及び派遣部活動数の増加を図るとともに、準備ができた競技・種目については、地域クラブの結成を支援し完全移行するなど、教職員の働き方改革の推進及び生徒がより充実した活動ができる環境整備を進める。

重点政策2 『いきいき シニア王国もりや（未来へつなぐ 健幸）』の実現に向けたまちづくり

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしをいつまでも続けることができ、幸せを感じながら暮らせるまちづくりを進める。

【政策推進に直結する施策・取組】

施策3：生涯学習の推進

▽自主的な学習活動の支援と機会・場の提供

- ・ 公民館指定管理者による新たな発想を取り入れ、利用者層の拡大を図るとともに、学校支援・公民館講座等を通して、シニア世代が学びの成果や技術、経験を発揮し、活躍できる場の提供に努める。
- ・ 公民館個別施設計画に基づき、北守谷公民館の大規模改修工事を進め、老朽化に伴う設備更新等を図るとともに、指定避難所の機能を備えた安全で利用しやすい施設の整備を実現する。
- ・ 守谷中央図書館個別施設計画に基づき、大規模改修工事に着手し、老朽化に伴う建物の長寿命化及び市民ニーズを反映した新しい図書館機能を保有する施設への転換を図る。

▽スポーツを楽しむ環境づくり

- ・ 市民の誰もが生涯にわたって継続的にスポーツに親しむことができるよう、引き続き市スポーツ協会をはじめとする関係団体・企業等と連携して活動機会の提供に取り組み、市民の運動・スポーツの習慣化を促進する。

▽心の豊かさを育む芸術・文化の振興

- ・ 守谷市美術作家展やアーカスプロジェクト「アーティスト・イン・レジデンス」など優れた作品を鑑賞する機会を提供するとともに、市民の芸術文化に対する意識・ニーズをもとに、有識者による検討会を組織し、芸術文化振興に関する新たな方向性を見出す。

▽歴史・文化資産の継承

- ・ 文化財の新規指定に向けて、市内寺社等が所有する文化財の調査を進めるとともに、本市の歴史や文化を知ってもらうため、「守谷市デジタルミュージアム」のコンテンツの充実や文化財に親しむ機会・場の提供に取り組む。

施策5：高齢者福祉の充実

▽生きがいづくりの機会と社会参加の促進

- ・ 高齢者が地域でいきいきと暮らせるよう、スポーツ、趣味等の活動のほか、各種福祉施設等にてボランティアが行える場を提供することで社会参加につながる機会の幅を広げ、生きがい活動を支援する。
- ・ シニアクラブやサロン等地域で高齢者が交流し、様々な活動が地域主体で行えるように支援する。

▽高齢者の介護予防の推進

- ・ 介護予防・フレイル予防活動を推進するために、運動教室や講演会のほか、SNS 等多様な方法で情報を提供し、高齢者が自主的に取り組むことができるよう支援する。
- ・ 認知症の予防対策を広く周知するため、SNS 等の多様な方法で情報を提供する。

▽高齢者福祉サービスによる支援

- ・ 認知症になっても地域で安心して暮らしていけるよう、認知症高齢者等 SOS ネットワーク事業の普及拡大に努めるとともに、見守り活動協力事業所との連携を推進し、見守り体制づくりを強化する。
- ・ 認知症の正しい理解と地域の協力を促すため、学生を含む幅広い世代に渡り認知症サポーター養成講座等を開催し、地域の支え合いを推進する。

施策7：健康づくりの推進

▽健康的な生活習慣の推進

- ・ 生活習慣病の発症及び重症化予防とがんの早期発見・早期治療につなげるため、ナッジ理論を活用した各種検診の受診勧奨を行い、受診率向上を図る。

▽食育の推進

- ・ スーパーマーケット等と連携し、栄養バランスのとれた食に関する情報提供を行い、食を通じた健康づくりを推進する。

重点政策3 『地域主導・住民主導による市民王国もりや（未来へつなぐ 地域・ひと）』の実現に向けたまちづくり

地域の住民が主体性を発揮して、地域の活性化や課題解決に取り組むまちづくりを進める。

【政策推進に直結する施策・取組】

施策3：生涯学習の推進

▽自主的な学習活動の支援と機会・場の提供

- ・ 公民館をコミュニティ施設として位置付け、「生涯学習機能」「地域交流機能」「地域支援機能」を満たすとともに、コミュニティ形成のための中心的施設としてふさわしい機能を果たせるよう、まちづくり協議会をはじめ、地域のサークル・団体等との相互連携を推進する。

施策6：地域福祉の推進

▽地域福祉活動の活性化

- ・ 避難行動要支援者の個別避難計画を作成していく過程で、まちづくり協議会や自治会・町内会、自主防災組織、地域住民に参加いただき、地域のつながりを発展させていく。

施策8：活気ある地域活動の推進

▽地域コミュニティの充実

- ・ 各地区まちづくり協議会が地域の活性化や課題解決のための活動を展開し、さらなる協働のまちづくりを推進するため、引き続き市職員及び社会福祉協議会職員が活動を支援・コーディネートするとともに、まちづくり協議会同士の連携や情報共有を促進する。

▽公益活動の促進

- ・ 市民の公益活動を促進するために、もりや公益活動促進協会の活動を支援し、既存の公益活動団体の強化及び活動の質の向上と新たな団体の育成を図ることで、公益活動団体の活性化と新たな活動の創出を図る。

▽協働のまちづくりの推進

- ・ 誰もが幸福を実感できる活力に満ちたまちを実現するため、まちづくりの基本理念等を定める「まちづくり基本条例」の策定に取り組む。
- ・ 昭和 50 年代に開発された新興住宅団地(ニュータウン)の地区再生検討会議を発足し、

再生に向けた検討を開始する。

施策11：防災・減災対策の充実

▽市民の防災意識の向上

- ・ 市内各地区での自発的な防災活動に関する計画とした「地区防災計画」や行動マニュアル等の作成がスムーズに実施されるよう支援を継続するとともに、「地区防災計画」が自主防災組織や自治会・町内会主導の防災訓練に反映できるよう支援を行う。

▽避難行動要支援者の避難支援

- ・ まちづくり協議会や自治会・町内会、自主防災組織、地域住民に参加いただき、避難行動要支援者の個別避難計画作成を推進する。

重点政策4 『スマート デジタル王国もりや（未来へつなぐ DX）』の実現に向けたまちづくり

デジタル技術の活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル社会の実現に向けて、横断的な取組として、未来へつなぐデジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進する。

【政策推進に直結する施策・取組】

施策9：信頼できる行政運営の推進

▽デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進

- ・ 市民を中心として、官民一体となったサービスの提供及び地域の暮らしに関する困りごとを解決できる環境を整えるため、市民データの利活用基盤の構築や分析環境の整備、市民一人ひとりに個別最適なサービスを提供するための基本ツールとなる、市民生活総合支援アプリ Morinfo のスーパーアプリ化及び関連するシステムの開発を進める。
- ・ 行政事務の効率化を実現するため、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）、AI-OCRの更なる活用を進めるとともに、生成AIの導入・活用を進める。
- ・ 行政手続きのオンライン化やデジタル技術の活用により、手続きや事務の簡略化・効率化を推進し、市民の利便性向上と行政の効率化を図る。
- ・ 市民に対する生活支援や地域経済の活性化、デジタル化を推進するため、デジタル地域通貨モリンの定常的な運用と利活用に向けた取組を進める。

▽ICT(情報技術)の活用

- ・ 入札契約事務におけるデジタル化への取組として、電子契約の導入、入札参加資格申請の電子化へ向けた調査検討を行い、業務の効率化、コスト削減及びコンプライアンスの強化を図る。

重点政策5 『王国もりや』の未来づくり

守谷市が未来に向かって持続的に発展していくために、財源の創出や豊かな資源の保全など、未来世代へ確かな資産を残すために、新たな発想で、果敢にチャレンジし、未来へつなぐまちづくりを進める。

【政策推進に直結する施策・取組】

施策9：信頼できる行政運営の推進

▽健全な財政運営の推進

- ・ 積極的に外部資源や民間活力を活用し、財源の確保や行政機能の補完を目指す。
- ・ 職員全員が営業マンという意識を持ち、ふるさとづくり寄附金や企業版ふるさと納税増加を目指す。
- ・ 行政だけでは対応できない課題の解決を目指し、ふるさと納税事業を基盤とした地域商社を立ち上げる。

▽公有財産の有効活用と適切な管理

- ・ 公有財産の有効活用を推進するとともに、利用目的のない未利用市有地は売却し、管理費の削減と土地代金等による財源確保に努める。

施策10：環境にやさしい生活の創出

▽ゼロカーボンシティの推進

- ・ 2050年までに二酸化炭素(CO₂)排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、国庫補助金等の外部資金の活用やPPA(電力販売契約)モデルの活用を考慮した上で、設置可能な公共施設における積極的な太陽光発電設備の導入を進める。合わせてCO₂の排出量が実質ゼロとなる「グリーン電力」の導入を拡大していく。
- ・ 市民や事業者に対し、住宅や事業所敷地内・屋上等の緑化を促進することでカーボンオフセットの取組を進める。
- ・ 再生可能エネルギーを有効活用することによりCO₂の排出抑制を促進するため、これまでの家庭用蓄電池導入に係る補助制度を継続するとともに、新たに太陽光発電設備やエコキュートの設置、電気自動車の購入に係る補助制度を創設する。

施策13：利便性の高い都市基盤の整備

▽コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり

- ・ (仮称)新守谷駅周辺土地地区画整理事業について、組合や業務代行者を支援し、企業の誘致、まちの駅の検討を進め、職住一体のまちの一翼を担う新たなまちづくりを促進す

る。

- ・ (仮称)守谷 SA スマート IC 周辺土地地区画整理事業について、組合設立準備委員会や業務代行予定者を支援し、事業における課題解決に向け取り組むとともに農業環境と調和する計画的な産業系土地利用を図るため、企業誘致、景観に配慮した建築物の誘導及びスマートシティの実現に向け事業推進を図る。

▽水道水の安定供給

- ・ 効率的で効果的な管路更新を実施するため、AI技術を活用した管路劣化度診断により、経年のみならず劣化状況に応じた水道管路整備更新計画を策定する。

▽雨水の適正排水

- ・ 雨水管理総合計画に基づき内水ハザードマップを作成・公表し市民への周知を図る。

▽公園・街路樹等の整備及び適正な維持管理

- ・ ヤクルト2軍球場等の完成(令和 9 年1月予定)に向けて、同球場等を併設する「(仮称)守谷市総合公園」の盛土工事等を進めるとともに、官民連携による市民ニーズを満たす公園の整備に取り組む。また、ヤクルト本社及びヤクルト球団と連携して、交流・関係人口の拡大のための取組を進める。

▽都市計画道路の整備

- ・ 常磐自動車道へのアクセスの向上や地域産業の支援等を図るため、新規事業化を決定された(仮称)守谷 SA スマート IC 計画について引き続き関係機関と連携し、早期開通に向けて全力を挙げて取り組むため、詳細設計等を実施する。

(以上)